

自分の身体を守ることができる子供に

保健主事

保健・安全面から見た本校児童の気になる傾向として、永久歯の一人当たりのう歯数が県平均を上回っていることや、低視力者数の割合が多いことがあります。どちらも、生活の中で気を付けることで少しでも防ぐことができるのではないかと考え、委員会活動で以下の取組をしました。

一つ目は、みんなに「正しい歯磨き」を意識してもらうことです。そのため歯ブラシの持ち方のポイントを明記したポスターと動画を制作しました。ポスターは歯磨きを行う場所に掲示し、動画はTeamsにアップして各クラスでいつでも視聴できるようにしました。2学期には、「正しい歯磨き大作戦」を実施して、より一層の意識化を図りました。二つ目は、視力低下を防ぐために簡単な目の体操の紹介を全校給食時を利用して行いました。目を上下左右に動かしたり、自分の指を立てて遠くの山と近くの指を交互に見たりする体操を音楽に合わせて行いました。

二つの活動のどちらも、自分で自分の健康を維持するために日常で意識できる内容です。自分の身体を自分で守ることができる子供になって欲しいと願っています。

代表児童発表

本校では、聴き合いを大切にしており、学期の始めと終わりには、代表児童が話す振り返りや抱負について他の児童が感想を返しています。

1月9日(火)に行われた3学期の始業式でも、各学年の代表が、冬休みに頑張ったことや、3学期に頑張りたいことを発表しました。その後、発表を聞いていた子供たちは、積極的に挙手し、発表を聞いて思ったことや、自分も頑張りたいことを発表していました。



書初大会

始業式の後、書初大会を行いました。子供たちは2学期から冬休みにかけ、書写の時間や家庭学習で一生懸命練習に取り組んできました。

物音ひとつ聞かえない、心地よい緊張感の中で、どの子供も丁寧な作品を書き上げました。

「みらい」「春待つ心」等、揮毫の言葉を胸に、新しい年が始まります。



鼓笛練習

毎年小中高合同運動会でを行う鼓笛演奏は、上平小学校の伝統の一つです。2学期の終わり頃から音楽の時間を使って練習を始めます。2学年合同での練習なので、この期間は上級生が下級生に楽器の演奏方法や階名を教える場面が多くみられます。今年度も鼓笛演奏の技術が受け継がれていきます。

来年度の小中高合同運動会を楽しみにお待ちしております。

